

**【質問】フルティフォームの製品特性は？**

**【回答】**

1. 炎症を強力に抑えるフルチカゾン\*<sup>1</sup>と、気管支を速やかに広げるホルモテロール\*<sup>2</sup>を同時に吸入できます。

\*1：フルチカゾンプロピオン酸エステル

\*2：ホルモテロールフマル酸塩水和物

2. 吸入直後から気管支拡張効果が得られ、喘息症状を長期にコントロールします。

本剤は発現した発作を速やかに軽減する薬剤ではないため、急性の発作に対しては使用しないこと。急性の発作に対しては、短時間作動型吸入 $\beta_2$ 刺激薬等、他の適切な薬剤を使用すること。

3. エアゾール製剤(pMDI\*<sup>3</sup>)を採用しており、吸入力に関わらず、簡単な操作で服薬できます。

\*3:pMDI:加圧噴霧式定量吸入剤

4. 副作用発現率は、21.4%(101/472例)であった。

国内臨床試験において、安全性評価対象472例中101例(21.4%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められた。主な副作用は、嘔声25例(5.3%)、血中クレアチンホスホキナーゼ増加10例(2.1%)、動悸6例(1.3%)、喘息6例(1.3%)、口内炎5例(1.1%)、咽頭炎5例(1.1%)でした(承認時)。

重大な副作用として、ショック、アナフィラキシー(頻度不明)、重篤な血清カリウム値低下(頻度不明)、肺炎(0.42%)が報告されています。

出典：インタビューフォーム